



若い目。

私の中の鬼退治

尚志館高1年

肥後 克弥

日本の伝統行事、節分は「鬼は外、福は内」と言いながら豆をまき、年齢の数だけ豆を食べる。しかしそれ以外にも、節分には深い意味が隠されているのではないだろうか。

そもそも鬼とは何だろう。私にとつての鬼は、弱気でモチベーションの低い自分である。日々の学校生活で見つけたさまざまな課

題や、これからの自分について考える時、憂鬱になることがある。やってみなければわからないのに。

やってみることだ。もちろん失敗することもあるだろう。それはその時にまた考えればいい。

「迷ったら前へ。苦しかったら前へ。つらかったら前に。後悔するのはその後、そのずつと後でいい」。この言葉は先日亡くなった闘将・星野仙一さんが残したものだ。最近この言葉を知って、かなりの衝撃が走った。

この考えにたどり着いたまさにその瞬間、自分の中で暴れ回る鬼が全く怖くなくなった。今年の節分は、去年よりも思い切つて豆をまこう。(志布志市)

そうだ、やってから後悔したほうがいいんだ。失敗したらどうしようかと考えるのではなく、まずとにかく